

平成29年度 県立吉田島高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
公務外非行の防止 (法令順守の向上)	神奈川県行動指針に則り、勤務時間内外を問わず、全体奉仕者である自覚を徹底し、公務員としての不適切な言動を未然に防止する。	毎朝、職員打ち合わせ時において、管理職から全職員に対し、時期に応じた事故不祥事未然防止に関する一言を継続し呼びかけた。また年度当初には、教職員全体を対象とした職場研修を実施した。さらに日常的には、県の記者発表記事や事故・不祥事に係る新聞記事等を職員室に掲示して、信用失墜行為のないよう注意喚起を行ったため、事故の未然防止が達成できた。
セクハラ・パワハラ・わいせつ行為の防止	セクハラ・パワハラ・わいせつ行為を未然に防止し、安全で安心な環境をつくる。	生徒及び職員の人権を尊重し、セクハラ・パワハラ、わいせつ行為に係る事故防止研修会を職員会議後に複数回実施した。職員間コミュニケーションを活発にし、セクハラ・パワハラ行為を起こさせない相談しやすい職場づくりに努めたため、事故不祥事に未然防止が達成できた。
体罰及び不適切な指導の防止	体罰及び不適切な指導の発生を教育現場から根絶、一掃する。	体罰及び不適切な指導は、生徒の人権や人間形成において、大きな影響を及ぼす重大な要素であることを、改めて認識する目的の事故防止研修会を、職員会議後に複数回実施した。職員間の日常的なコミュニケーションから互いに体罰や不適切な行為を看過しない職場づくりに努めたため、体罰や不適切な事案の根絶、一掃が達成できた。
適正な経理処理	関係諸規定に沿った公費執行と現金管理を行うとともに、私費会計事務処理に手引きに従い、適切な私費会計の徴収、現金管理執行を行う。	私費会計事務処理の手引きを使用した会計担当者への研修会を実施した。また、財務事務調査後の指導事項などをふまえた職員研修会を、職員会議後に1回行った。さらに、日常的に伝票のやり取りは職員間の意思疎通の中で、誤りを看過しない意識の中で書類が渡り、年2回のPTA会計監査も実施し、外部の方にも丁寧に監査を頂いていることから、会計面についての、事故不祥事の未然防止が達成できた。
個人情報等の管理と情報セキュリティー対策	個人情報等の管理体制を確立し、情報の紛失及び流出を未然に防止する。	教務手帳保管の一元化を徹底するなど、個人情報等の管理体制を強化した。セキュリティー対策や個人情報の保護と管理に関する研修会を、総合教育センター講師を招いて実施した。職員の意識もさらに向上し事故不祥事の未然防止が達成できた。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	成績処理に係る事故の発生を未然に防止する。	教務手帳保管の一元化を徹底するなど、個人情報等の管理体制を強化した。成績処理や調査書などの作成については、朝の打ち合わせなどで、マニュアルを遵守し複数職員で丁寧に確認を行うよう指示した。職員の意識もさらに向上し事故不祥事の未然防止が達成できた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の順守	交通法規を遵守し、交通事故の発生を未然に防止する。	全職員を対象とした交通法規遵守に係る事故防止研修会を職員会議後に複数回実施した。交通関連の事故不祥事の未然防止に対する意識醸成が浸透した。
毒物・劇物等の安全管理	毒物・劇薬等の安全管理を徹底する。	農薬や薬品等の管理簿に基づいて帳簿管理と在庫点検をきちんと行うことによって、安全管理の徹底を達成できた
業務執行体制の確保	事故・不祥事が起こらない業務執行体制を構築する。	職員のメンタルヘルスクエアを徹底するため、全職員を対象として産業医による面談を実施した。また、業務にあたっては複数での対応に努め、相互チェック確認体制を心掛けた。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

すべての項目で概ね目標を達成することができた。今後も風通しの良い職場をつくり、ヒューマンエラーを最小にして、組織的に事故・不祥事ゼロに取り組んでいきたい。